



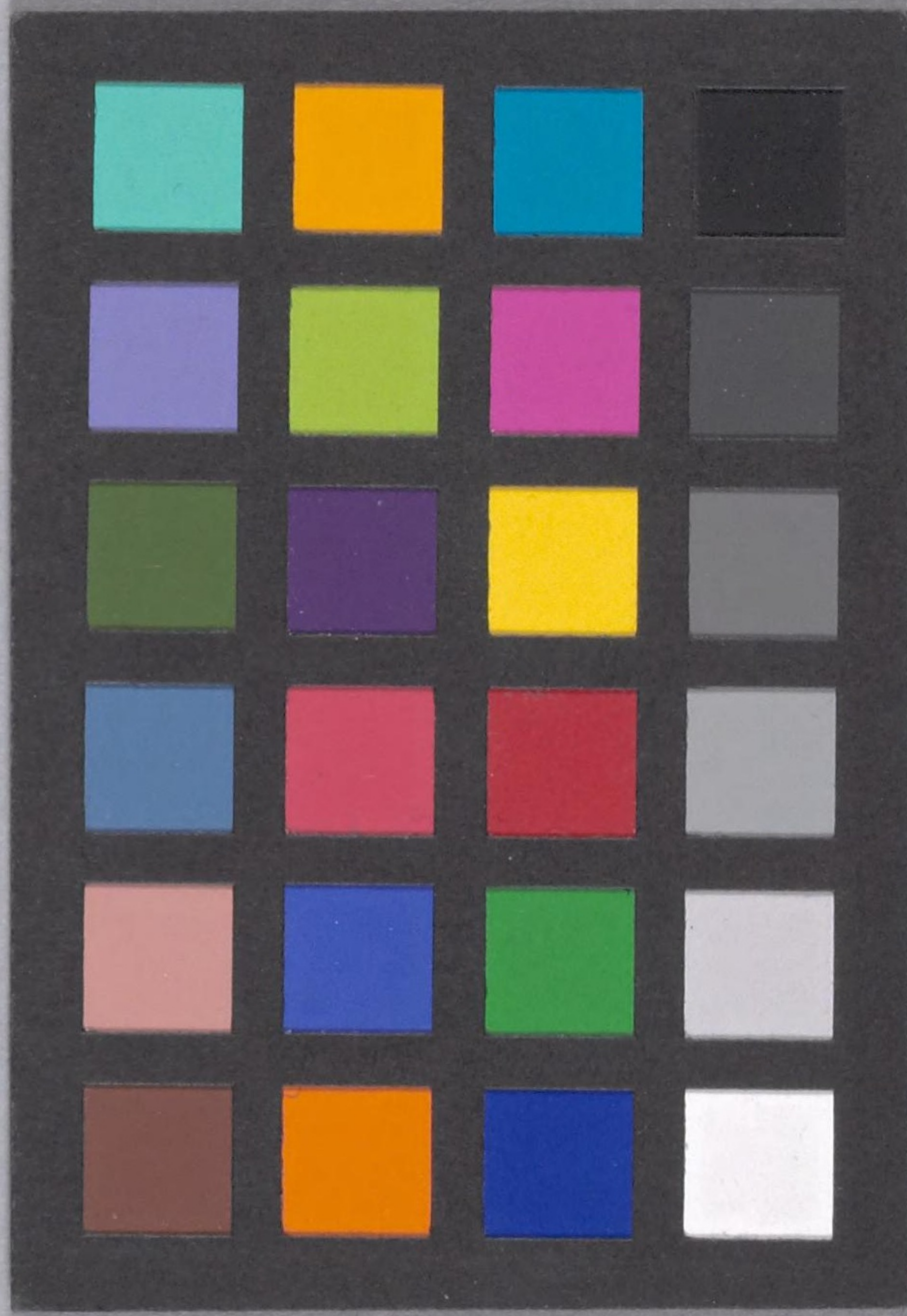
245  
159

長生草

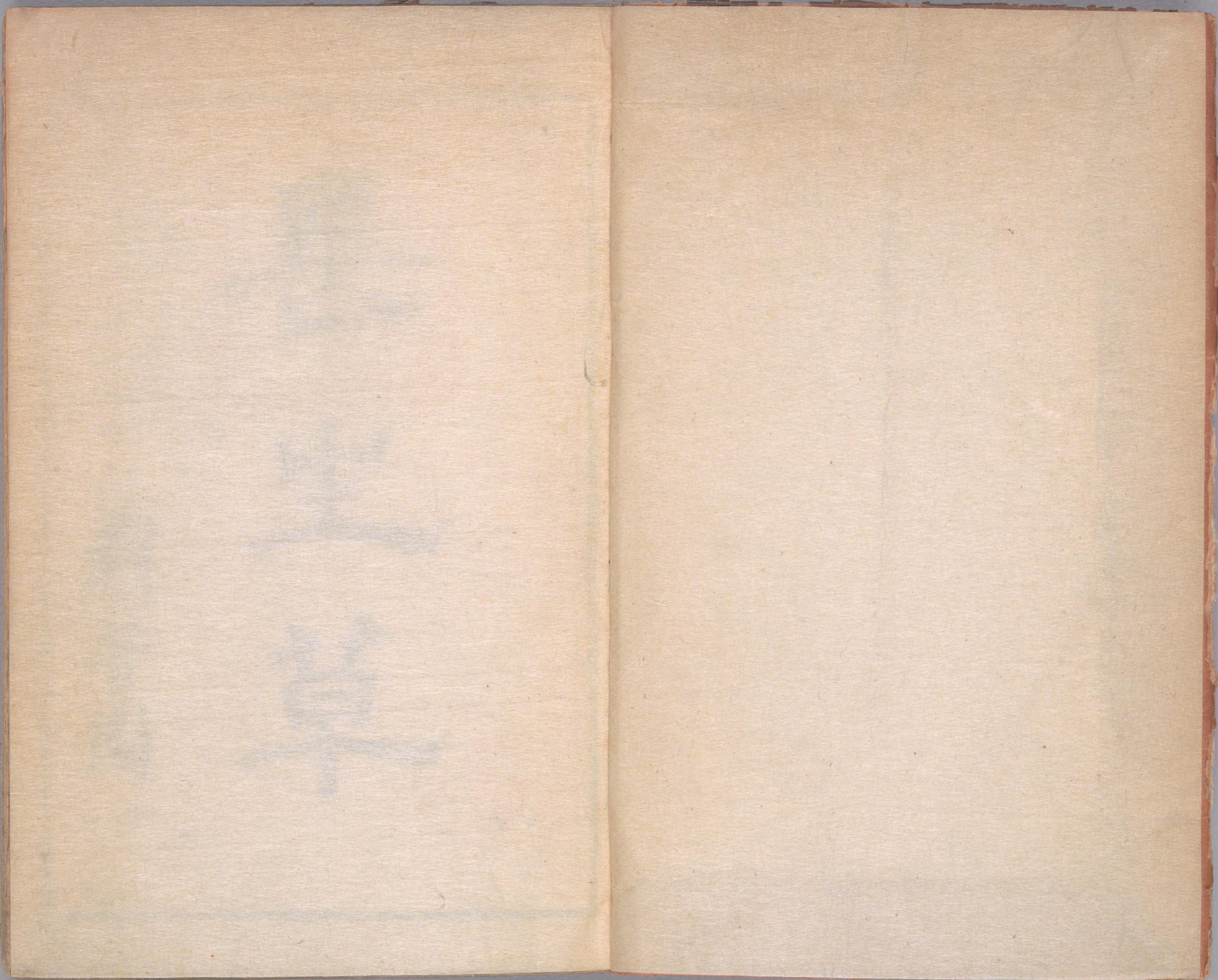
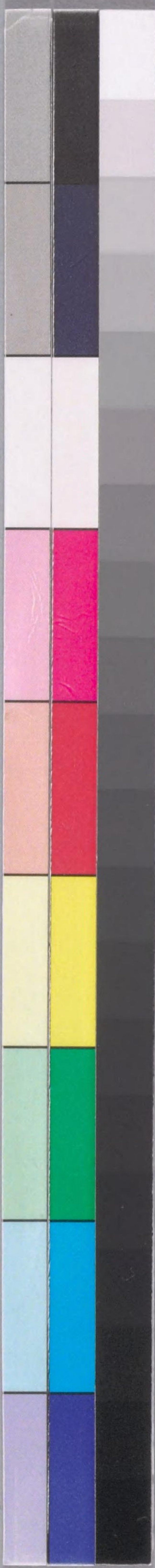
全

圖書

国立国会図書館 長生草 245-159

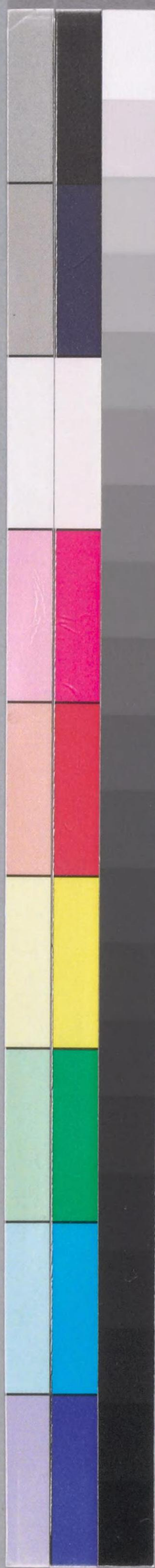






国立国会図書館 長生草 245-159





長

生草

群芳園



国立国会図書館 長生草 245-159



序

空谷幽嶽之間。往々業生

石斛。其絶代奇品。去夏百

少。系中。之。也。主出藍。有驛

如<sup>ル</sup>蔭田<sup>ニ</sup>之玉<sup>ニ</sup>中心<sup>ニ</sup>點<sup>ル</sup>雪<sup>ニ</sup>去<sup>ル</sup>。又

有<sup>ル</sup>驛<sup>ニ</sup>如<sup>ク</sup>山海經<sup>ニ</sup>所謂<sup>ル</sup>文玉<sup>ノ</sup>樹<sup>ノ</sup>。

燦<sup>々</sup>常<sup>ル</sup>晨<sup>ニ</sup>安<sup>ク</sup>去<sup>ル</sup>。異<sup>ニ</sup>形<sup>ノ</sup>殊<sup>ニ</sup>類<sup>ノ</sup>種<sup>ノ</sup>。



奇品不可拳數苟無選採  
之去則隱形藏迹終多有顯  
於世間者矣。近者江戶有水野  
氏去能選採石薺鳴騶入  
谷鶴書起隴抽玉振珠奇  
品簇其所賞識摩如汝南  
有月旦評者若夫絕代奇品  
与凡奇同位於眾矣之中而  
多有顯於世間者則雖夫子  
將有猗蘭採豈可不嘆惜乎。  
頃日京沙道場津伊品列五  
十餘種以送水野氏聊表拔  
茅之意也。他日必有泥金帖  
子之報則予亦在醉金蓮寺



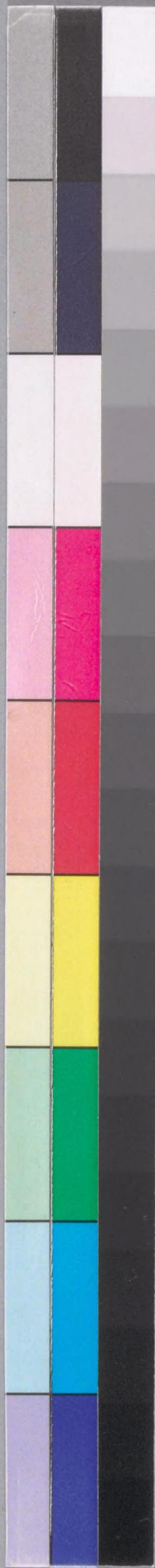
衰道場、櫻桃宴。

天保甲子春三月

湖上弟任逸史職



久方於天乃下、妙はるる、深き谷存、こがれ、  
草は、い、出、り、中、の、葉、芽、の、交、ぬ、き、ど、人、乃、自、を、  
が、ら、く、は、り、が、為、り、後、つ、つ、が、ら、芽、は、お、か、い、出、り、  
後、の、天、あ、ら、の、き、も、物、が、ら、ぬ、や、ま、い、と、な、ら、ば、  
お、ん、と、世、は、ま、す、な、ら、ぬ、お、ん、と、中、の、芽、は、長、生、草、  
と、名、を、か、ほ、り、石、薺、と、い、ふ、後、の、芽、の、お、か、い、は、  
書、れ、の、こ、い、ま、さ、く、朝、夕、の、つ、つ、思、は、る、





ふしむくあまのさかひのついでに  
かこひはあまのさかひにこころを  
梅のさかひのついでにさかひを  
さかひのついでにさかひを  
さかひのついでにさかひを  
さかひのついでにさかひを  
さかひのついでにさかひを  
さかひのついでにさかひを

天保九年三月廿二日  
長生草

附言

一長生草の草名山乃山嶽の草生ひ  
て神代より筑紫の草生ひ  
くも少名産れ津葉と名責  
大同のころは津葉と名付られ  
ては草生ひ草生ひ草生ひ



其切詰を存す乎獨自に之を中と又  
小盃より之を目を致すその精氣  
を養ふといふ可し其をせし  
三年程に莖より暖むる茶力量  
り日中を飲りて其を度とすこれ  
を子母といふ杜蘭林蘭と名と  
負せ

中より葉を茶葉と名を力安とす  
あやむるを奇品多し之を世より  
三都力人といふを茶の精とす  
一奇品力生を茶と名を天地の  
物とすこれに流れるは氏となす  
心難くその植るは好むとす

六六





一 栲物の朽る中も急やれさかて  
 こゝの草又びんなく周しあつて水苔り  
 角ごふふ内をさしと植へし

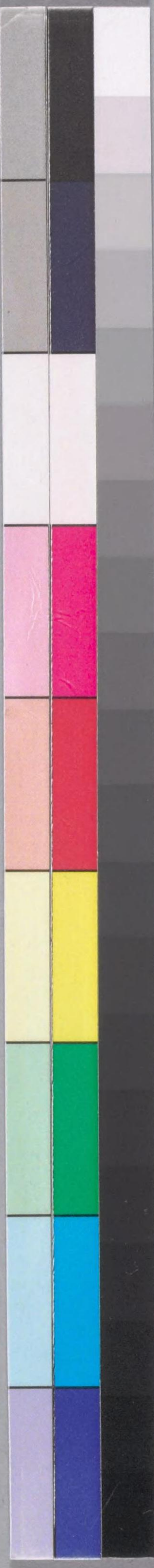
一 市中ち他なき處ハ庭根のいれ  
 高欄よても風通ふと致致水をと生  
 ちらふ葉の朝日のいぢきさるるに  
 午後

大夏の日をともし中斑乃品ハ日  
 影うらむきこし

一 水苔を山林函谷やと上るほひさ  
 雲よ生いさるく水集とふをめ  
 けのなり

一 老きくしつうきも朝とゆえ水  
 うりぢきさるるをささくす急しと  
 け

山





菊花様

淡黄くしてきれいなもの

紅雀

普通の品の中より赤いもの

黄屯

普通の品の中より淡黄のもの

月季

普通の品の中より四季咲くもの

雪白

普通の唐石薔のものと花びら  
厚く極ふもの

品目

あついなまのくさきあついなまのくさき  
乃高の好くくさきあついなまのくさき  
くさきあついなまのくさきあついなまのくさき

七



以上 花部

金剛團コウゴウダン 葉極く厚く多し又折目縮みあり  
いまこ斑入をみる

紅金剛コウゴウ 丸葉うすく縁をみる  
茎やうすく紅をみる

鷹金剛トウゴウ 茎青く葉極く少く  
花

最明寺金剛サイメイジキョウゴウ 少葉あり  
花

金剛珠コウゴウジュ 丸く夏金剛より少葉あり  
花丸くつやあり

紫金剛ムラサキキョウゴウ 葉よき花のりつやあり  
花は島よりふくむらんあり

玉獅子團タマシジヲダン 極く大葉あり  
花は丸く葉をみる

玉匙金剛タマシキキョウゴウ 丸く葉をみる  
花は丸く葉をみる

鍍玉金剛タツタマキョウゴウ 葉形をみる  
花は丸く葉をみる

雪團ユキダン 葉形直く  
花は丸く葉をみる

金華山キンカザン 葉黄く  
花は丸く葉をみる

花



醇團

葉至る厚く莖至る太く中澁き  
黄青同姓として二品あり

團月

俗に丸くさくさく莖まじりたる  
葉も厚紅後より極白

南京團

葉幅あるを多く緑白分明として  
その色の

松丸雪

葉形長くまじり白あり

綺段

貴原まじり木田とらふ莖まじり二品  
あり斑ありて白

梅のえ

葉青く中澁きと極あり  
葉のまじり二品あり

紅綺段

緑の厚みをおさくり葉あり  
深紅あり

古金鑢

中澁きくまじりて葉の深緑

松のえ

葉まじり中澁きより極あり  
葉のまじり二品あり

岩間丸雪

中澁きくまじり葉の中よ  
むらあり

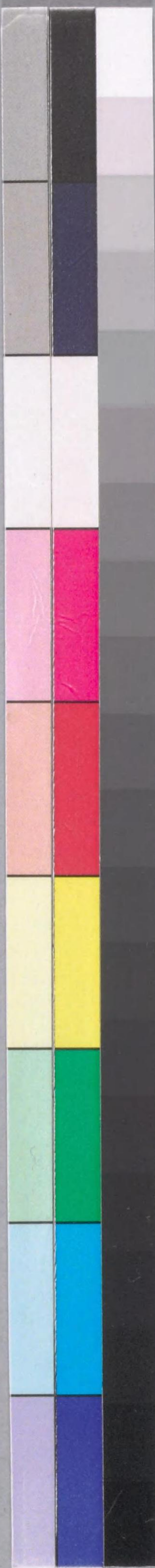
朝霞

葉まじり中澁きより極あり中澁  
まじり葉のまじり二品あり

綿

中澁きひろく入る霞輪の

九





錦團

莖うろこして赤く葉がまじりたるあり  
多く板目の斑あり

金光龍

葉うろこして赤く中斑ありあり  
葉うろこして赤あり

縹紗團

葉うろこして縹色ありあり

青團

青葉ありして葉がまじり細あり  
黄中斑あり葉あり一名板入と云ふあり

大江團

大葉ありして丸葉あり  
但しふくらみも葉ありあり

金石

葉ありして葉がまじり細あり  
但し葉ふくらみありあり

玉龍

葉ありして葉がまじり細あり  
板黄色あり

琉球團

葉がまじり大たうろこありあり  
黄島并黄中斑あり

青龍

莖青く小葉ありして中斑あり

金紫團

莖紫ありして黄の中斑あり

磐石團

大葉ありして葉がまじり色濃くして  
淡黄の中斑并黄島あり

大鷹團

莖うろこして葉がまじり葉のうろこはく  
中斑并黄島ありあり



虎額園

葉もろく黄斑あり

雪片稜

通して岩古らといふ葉もろく極青  
光りあり葉もろく極白あり

黄金緑

通して金葉といふ葉もろく極青  
つやあり極昔の度極昔の角石あり

白銀緑

通して銀葉といふ葉もろく極青  
葉もろく極白あり

紫金緑

通して紫金葉といふ葉もろく極青  
葉もろく極黄あり

緑黄緑

葉もろくあり緑と黄のふらふら

雪霞緑

通して雪霞葉といふ葉もろく極青  
葉もろく白のふらふらとあり

大雪緑

通して都ふらふらといふ葉もろく極青  
葉もろく白のふらふらとあり

細葉雪片稜

通して細葉といふ葉もろく極青  
葉もろく白のふらふらとあり

金稜

葉もろく長く黄のふらふら

衡梁

向籠ともいふ葉の中又高く極青  
あり又堅く折目あり

鶴鶴

中斑白く葉もろく葉もろくあり

十一



ちんろとすん

葉形ふ鳥又似たり

藤花團

富士丸ともふ小葉ありて形ひあり  
茎葉紫葉の裏を又似たり

薬研團

葉形丸くはほみ直又や丸又  
似たり

吾五拾餘品世間うそまてんやせる

名品難と其外一家の名品よく

なつてはといふもこれをも畧せり

和名

すゝ難いことすゝ 大同類聚方

さきとらき 同

ほろちひこのくすぬ

延喜式  
和名抄

いそらすらり 和名抄

いそとらき 通名



水草



漢名

石斛

本草綱目

林蘭

同

金釵

同

千年潤

同

禁生

同

石蕒

別錄

杜榮

同

百丈鬚

藥譜

釵斛

醫級

石斛草

康熙字典

長生草

物理小識



金剛丸



紅雀





紫金剛



豆金剛





多賀金剛



玉獅子





玉金剛



雪丸





厚丸



金華山





南京丸



圓中



〇六



紅木田



木田



七〇



松ヶ枝



梅ヶ枝



八〇



錦丸



朝霞







縮緬丸



金光龍



大江丸



青丸





玉龍



金石



〇十一



青 龜



琉 球 丸





大鷹丸



盤石丸





金龍



虎額丸



十五



都覆輪



銀龍



六



富士丸



〇七

冬山難くぬれそ基もほれそ  
下葉をらるる当りて心力業は  
折りたるは古各偉人の操なり  
冬にその実乃て自ら小法も  
若の敷さくららつはまへ  
乃ちち遠くゆくさのし美を



之 終 之 事 難 記

天 保 十 年 壬 午 月

正 安 秋 屋 亭 之 入 寫 併 藏



天保八箇正月

坂上安房

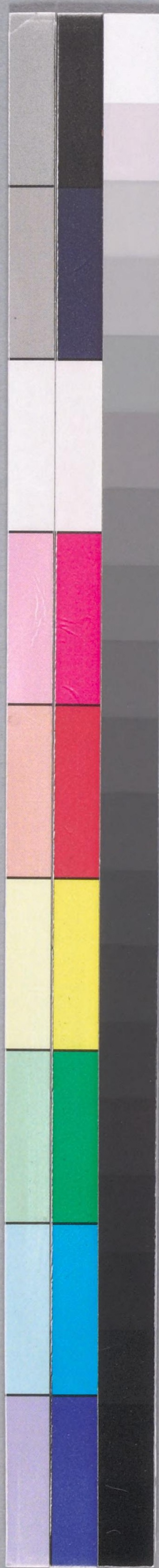
水吉  
風



245  
159







国立国会図書館 長生草 245-159

